

連携の仕組みや方策について R2 実施アンケート結果抽出（返信数 151 件）

●連携を取りやすい職種

全体		医療職から見て		介護職から見て	
1 位	介護支援専門員	1 位	医師	1 位	介護支援専門員
2 位	訪問看護師	2 位	介護支援専門員	2 位	訪問看護師
3 位	医師	3 位	訪問看護師	3 位	通所系事業所管理者

連携を取りやすい理由

介護支援専門員→職種の専門性を理解している、患者の病状等の共有ができる、相談がしやすい
医師、訪問看護師→患者の病状等の共有ができる、

●連携を取りにくい職種

全体		医療職から見て		介護職から見て	
1 位	医師	1 位（同率）	歯科医師	1 位	医師
2 位	歯科医師	1 位（同率）	歯科衛生士	2 位	歯科医師
3 位	歯科衛生士	3 位	薬剤師、リハ専門職	3 位	歯科衛生士

連携を取りにくい理由

医師→相談しやすい環境でない

歯科医師、歯科衛生士→連携の経験がない

●多職種連携における情報共有で活用しているもの（複数回答可）

1 位	電話
2 位	FAX
3 位	会議

※MCSは第 4 位

●医療と介護の連携に関して課題だと思うこと、日頃感じていること

医療職 → 介護職	介護職 → 医療職
・双方、日常業務が忙しく、連携を取っている時間や余裕がない。〈医師〉	病気の治療は終了していても、生活していけるかどうかはまた別。医学的に入院適応ではなくても、生活困難かどうかで支援を途切れさせず連携することが難しい。〈包括〉
・医療職と介護職で医療、福祉に関する専門知識が大きく異なり、それを相互に理解する必要性の意識を高く持つべきと考える。〈薬剤師〉	医師、歯科医師とは連携がとれる環境ではないと考える。病院、クリニック等で介護と主治医を繋ぐ担当者（MSW、看護師）が明確に分かれれば連携しやすい。〈CM〉
・お互いの仕事の範囲（どこまでお願いしてよいか）が分からないことが多い。〈薬剤師〉	病院の医師、看護師について、退院後その患者がどのような生活をするのかももっと関心をもって欲しい。〈CM〉
・それぞれが忙しく、情報共有の場としてMCSをもっと充実させてほしい。〈訪問看護師〉	医療関係者は多忙でいつ連絡をしたらよいか分からない。〈CM〉
・医療側が介護の、介護側が医療の知識がある人となない人がバラバラで、連携が取りにくい状況が時々ある。〈リハビリ職〉	忙しくない時間に連絡したいと思いながら、連絡することを躊躇している。〈介護福祉士〉
・MCSについて、様々な利用者専用のグループを気軽に作成できればスムーズな情報共有が行えるのではないかなと思う。〈リハビリ職〉	普段から関わりのない医療機関への相談は敷居が高く感じてしまうため、医師との間にワンクッションがあると相談しやすい〈介護福祉士〉
・連携に際して、お互いの一日の流れ、時間などが把握できるとストレスなく電話できたり相談できると思う。〈MSW〉	医師と介護の連携にはケアマネジャーの存在がとても大きいため、ケアマネジャーの医療知識の充実が課題。〈介護福祉士〉